学校番号	3024

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ２年理	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選現代文Ｂ」（東京書籍）						
副教材等	「新訂総合国語便覧」（第一学習社）、「現代評論選」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・記述力は記述練習を繰り返すことで初めて向上します。推敲を重ねて書き上げた文章を添削してもらい、再度記述することで論理的な文章に近づいていきます。この努力をし続けて下さい。論理的な記述力を養うことが、日常生活における課題解決のための論理的な思考力を高めることにもつながっていきます。
・文章の要旨をとらえるためには正しい漢字・語彙を身につけることが必須です。語彙を豊かにし、相手の意図を正確に読み取ったり自身の考えを的確に表現したりする力を高めましょう。
・授業の予習を現代文においても怠らないようにしましょう。言葉の意味調べはもちろん、本文を前もって読み、理解できなかったところを真剣に思考しておいて下さい。読解力や思考力の向上は、家庭学習にかかっています。

2　学習の到達目標

・思考を理解し、意見を表現する力を積極的に高めることで、言語文化への自己の理解を深める。
・他者の思考を的確に理解しながら聞き取り、自分の意見を明確に伝え、自己の考えを深める。
・相手の意図や自身が理解したこと・感じたことを論理的に書く力を身につける。
・文章を的確に読み取り、それをもとに視野を広げて自己の見識を広げる。
・語彙・漢字・伝統的言語文化についての理解を深め、必要な知識を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	思考を理解し、意見を表現する力を積極的に高めることで、言語文化への自己の理解を深めようとしている。	他者の思考を的確に理解しながら聞き取り、それに対して自己の意見を深め伝えている。	相手や目的に応じた文章を的確に書いたり、深めた自己の意見を、構成を意識して書いたりしている。	近代以降の文章を的確に読み取り、それをもとに視野を広げて自己の見識を発展させている。	語彙・漢字・伝統的言語文化についての理解を深め、必要な知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等の評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論1	教材: 「世界をつくり替えるために」	○	◎			○	a:本文の表現に即して、「学ぶことの意味」について考えようとしている。 b:「心の中の種」について話し合い、自己の見解を深めている。 e:語句や比喩表現について理解している。	a、b、e: 行動の観察と定期考査
		教材: 「ミロのヴィーナス」	○		◎		○	a:筆者の考える芸術のあり方を読み取ろうとしている。 c:筆者の着眼点や発想を理解した上で、自己の考えを文章にまとめている。 e:逆説的な表現の持つ効果についての理解を深めている。	a、e: 行動の観察 c: 記述の確認及び定期考査
	小説1	教材: 「山月記」	○			◎	○	a:虎になった李徴の悲劇がどのような点にあるかを考えようとしている。 d:登場人物の性格や行動について的確に読み取り、「人間」そのものについての考えを深めている。 e:この小説における「変身」の意味や位置づけについて理解している。	a、d、e: 行動の観察と分析、及び定期考査
	評論2－①	教材: 「相手依存の自己肯定」	○			◎	○	a:本文で挙げられている人称代名詞の使われ方を的確に読み取り、日本人の、自己の把握のあり方の特色を捉えようとしている。 d:本文の例に即して日本人の自己表現の特色について読み取り、日本人の自我の構造や特徴について理解している。 e:それぞれの段落の特徴を掴み、構成を理解している。	a、d、e: 行動の観察と分析、及び定期考査

2学期	小説2	教材: 「こころ」	○			◎	○	a:登場人物の言動に注意しながら読解しようとしている。 d:登場人物の性格、行動について的確に読み取り、人間の「エゴイズム」についての考えを深めている。 e:登場人物・情景・心理などの描写を的確に捉えて味わっている。	a、d、e: 行動の観察と分析、及び定期考査
	評論2－②	教材： 「科学的『発見』とは」	○	◎			○	a:本文を通じて、「見ること」・「発見」の本質について考えを深めようとしている。 b:本文に用いられている一義的な見え方をしない図像について、自己の見解を持って話し合っている。 e:事実と解釈の問題についての考えを深めている。	a、b、e: 行動の観察と定期考査
	評論3	教材： 「おじいさんのランプ」	○		◎		○	a:「日本の文字文化」についての筆者の考えを正確に読み取ろうとしている。 c:デジタル化による「本質的な変化」について筆者の考え方を基に、的確にまとめている。 e:語句や表現について理解している。	a、e: 行動の観察 c: 記述の確認及び定期考査
		教材： 「消費されるスポーツ」	○			◎	○	a:「スポーツを消費する」という表現の意味するところを読み取ろうとしている。 d:「活動の総体」としての「社会」とアプリオリに存在する「社会」の違いを読み取っている。 e:語句や表現の意味を理解している。	a、d、e: 行動の観察と分析、及び定期考査
	詩歌	教材: 「永訣の朝」	○	◎			○	a:「いもうと」の死を前にした「わたくし」の思いを、詩の表現から読み取ろうとしている。 b:詩の主題について話し合い、理解を深めている。 e:詩の表現やリズムがもたらす効果の理解を深めている。	a、b、e: 行動の観察と定期考査

3学期	評論4	教材: 「『である』ことと『する』こと」	○			◎	○	a:具体例と筆者の主張との関係に注意して読解しようとしている。 d:「である」ことと「する」ことを軸にしている筆者の主張を的確に読み取っている。 e:「近代化」の特徴について理解し、社会や人間についての理解を深めている。	a、d、e: 行動の観察と分析、及び定期考査
	評論5	教材: 「地図の想像力」	○	◎			○	a::「記号論」について興味を持ち、文章の内容を読み取ろうとしている。 b:身近にあるさまざまな地図について、どのような工夫がされているか話し合い、自身の理解を深めている。 e: 地図は「概念」であるとする筆者の主張を正確に理解できている。	a、b、e: 行動の観察と定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については全ての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話す・聞く能力」・「書く能力」・「読む能力」）に関わる観点には◎を付けている。